

北海道米の放射性物質モニタリング調査結果について

平成23年9月13日
北海道農政部

1 経 過

東日本大震災により、東京電力福島第一原子力発電所で事故が発生したことから、道内農地の土壌への影響を確認するため、モニタリング調査を実施しております。

今回は、道総研農業試験場の水稲栽培ほ場（水田）の土壌に加えて、収穫前の玄米についても調査を実施しました。

2 調査時期

(1) 水田土壌：平成23年9月5日採取

(2) 玄 米：平成23年9月1日採取

3 調査結果

○ 前回（8月）に引き続き、補足調査した水田土壌については、これまでの土壌調査結果と同様、不検出又は低い値でした。

○ 今回新たに補足調査した玄米については、全て不検出でした。

〔 なお、継続実施している7地点の土壌に関しても、これまで同様、不検出又は低い値となっている。（別紙のとおり） 〕

注）国が示した「米の放射性物質調査」の対象となる土壌中の放射性セシウム濃度は、1,000Bq/kg以上。米の出荷制限の対象となる暫定規制値は、玄米で500Bq/kg。

（水田土壌）

市町村名	調査場所	土 壌	ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
		採取日	Bq/kg (乾土換算)	Bq/kg (乾土換算)	Bq/kg (乾土換算)
比 布 町	上川農業試験場	9月5日	不検出	不検出	不検出
岩見沢市	中央農業試験場	9月5日	不検出	不検出	不検出
北 斗 市	道南農業試験場	9月5日	不検出	不検出	13.3

各農業試験場の水稲栽培ほ場から採取し、北海道立衛生研究所で分析。

（玄米 今回追加分）

市町村名	調査場所	玄 米	ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
		採取日	Bq/kg	Bq/kg	Bq/kg
比 布 町	上川農業試験場	9月1日	不検出	不検出	不検出
岩見沢市	中央農業試験場	9月1日	不検出	不検出	不検出
北 斗 市	道南農業試験場	9月1日	不検出	不検出	不検出

各農業試験場の水稲栽培ほ場から採取し、北海道立衛生研究所で分析。

<参考> 過去3年(H19~21年)の北海道の農地土壌等における放射性物質モニタリング結果

環境放射能水準調査結果 (道立衛生研究所)	区 分	調査場所	ヨウ素-131	セシウム-137
	農地土壌	札幌市・江別市	不検出	14~19Bq/kg乾土
精 米	札幌市・石狩市	不検出	不検出	

問い合わせ先

水田土壌：北海道農政部食の安全推進局技術普及課
ダイヤルイン 011-204-5378 代表 011-231-4111(内線27-801)
FAX 011-232-1091 担当者 平野

玄 米：北海道農政部食の安全推進局農産振興課
ダイヤルイン 011-204-5982 代表 011-231-4111(内線27-703)
FAX 011-232-4132 担当者 今井

北海道における放射線の環境モニタリング状況

平成23年9月13日

1 道内における空間線量の推移 [観測データは、札幌3/14～、その他局は3/23～]

[札幌での平常値は、 $0.020 \sim 0.105 \mu\text{Sv/h}$ ($1 \mu\text{Sv}$ (マイクロシーベルト) = 0.001mSv (ミリシーベルト))](単位: $\mu\text{Gy/h}$)

場所	3月	4月	5月	6月	7月	8月
札幌市	0.027~0.041	0.028~0.045	0.028~0.041	0.028~0.043	0.028~0.042	0.028~0.049
岩見沢市	0.032~0.048	0.040~0.056	0.040~0.062	0.038~0.060	0.040~0.068	0.040~0.060
倶知安町	0.036~0.042	0.036~0.056	0.040~0.056	0.040~0.052	0.040~0.060	0.040~0.060
室蘭市	0.032~0.040	0.028~0.058	0.028~0.056	0.026~0.048	0.022 ~0.056	0.026~0.042
浦河町	0.040~0.052	0.040~0.060	0.038~0.070	0.042~0.056	0.040~0.062	0.042~0.064
函館市	0.026~0.038	0.024~0.050	0.024~0.040	0.028~0.036	0.026~0.060	0.026~0.042
江差町	0.038~0.072	0.034~0.060	0.036~0.054	0.038~0.054	0.038~0.060	0.036~0.052
旭川市	0.044~0.060	0.042~ 0.078	0.034~0.064	0.042~0.068	0.040~0.064	0.040~0.062
留萌市	0.032~0.050	0.036~0.060	0.040~0.054	0.040~0.058	0.042~0.058	0.040~0.060
稚内市	0.044~0.052	0.042~0.064	0.042~0.066	0.044~0.066	0.040~0.054	0.040~0.066
網走市	0.030~0.040	0.028~0.060	0.032~0.052	0.034~0.050	0.034~0.056	0.032~0.052
帯広市	0.036~0.044	0.034~0.048	0.032~0.052	0.030~0.058	0.032~0.056	0.032~0.050
釧路市	0.026~0.040	0.030~0.040	0.030~0.042	0.030~0.042	0.030~0.040	0.026~0.040
根室市	0.032~0.040	0.028~0.046	0.028~0.052	0.026~0.050	0.030~0.044	0.028~0.046

※ アンダーラインは、道内(14地点)における最小値と最大値

※ Sv(シーベルト)とは、Gy(グレイ)に人体への影響を考慮した荷重係数を乗じたエネルギー量。

(緊急時の場合は、GyをSvと同じと考えて差し支えないとしている。)

2 札幌における降下物の放射線量[平常値は不検出]

(単位: MBq/km^2)

		3月	4月	5月	6月	7月
降下物 (ちり・雨等)	ヨウ素131	0.41	5.7	0.58	不検出	不検出
	セシウム137	不検出	5.7	2.3	0.35	0.45
	セシウム134	不検出	6.0	2.4	0.39	0.38

※ 受水面積 5.024cm^2 の大型水盤で1ヶ月毎に採取したものの分析値

3 農地土壌における放射線量

[過去3年(H19~21年)の札幌市・江別市における調査では、ヨウ素131は不検出、セシウム137は $14 \sim 19\text{Bq}/\text{kg}$](単位: Bq/kg 乾土)

		4/18	5/16	6/13	7/11	8/8	9/2~8
長沼町 (中央農試)	ヨウ素131	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
	セシウム137	4.5	不検出	4.2	不検出	4.9	不検出
北斗市 (道南農試)	ヨウ素131	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
	セシウム137	9.4	10.3	12.4	11.0	9.6	10.7
比布町 (上川農試)	ヨウ素131	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
	セシウム137	5.9	不検出	不検出	不検出	不検出	4.9
浜頓別町 (天北支場)	ヨウ素131	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
	セシウム137	9.9	10.2	12.3	11.6	10.2	10.1
芽室町 (十勝農試)	ヨウ素131	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
	セシウム137	6.9	7.7	10.7	不検出	8.8	不検出
訓子府町 (北見農試)	ヨウ素131	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
	セシウム137	8.0	不検出	5.1	5.6	5.5	6.0
中標津町 (根釧農試)	ヨウ素131	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出	不検出
	セシウム137	8.8	8.9	8.9	11.7	6.3	9.2

※ セシウム134は、いずれも「不検出」

(補足調査)

23年作付中の水稻栽培ほ場(3カ所)の土壌について調査を実施

(単位: Bq/kg (乾土換算))

		8/8	9/5
比布町 (上川農試)	ヨウ素131	不検出	不検出
	セシウム137	不検出	不検出
岩見沢市 (中央農試)	ヨウ素131	不検出	不検出
	セシウム137	不検出	不検出
北斗市 (道南農試)	ヨウ素131	不検出	不検出
	セシウム137	12.3	13.3

※ セシウム134は、いずれも「不検出」

